

デスクトップ赤外線リピーター (F829x) マニュアル

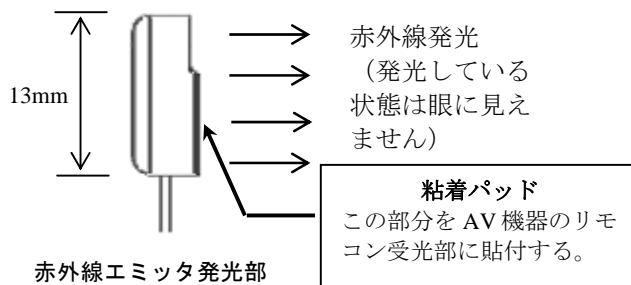
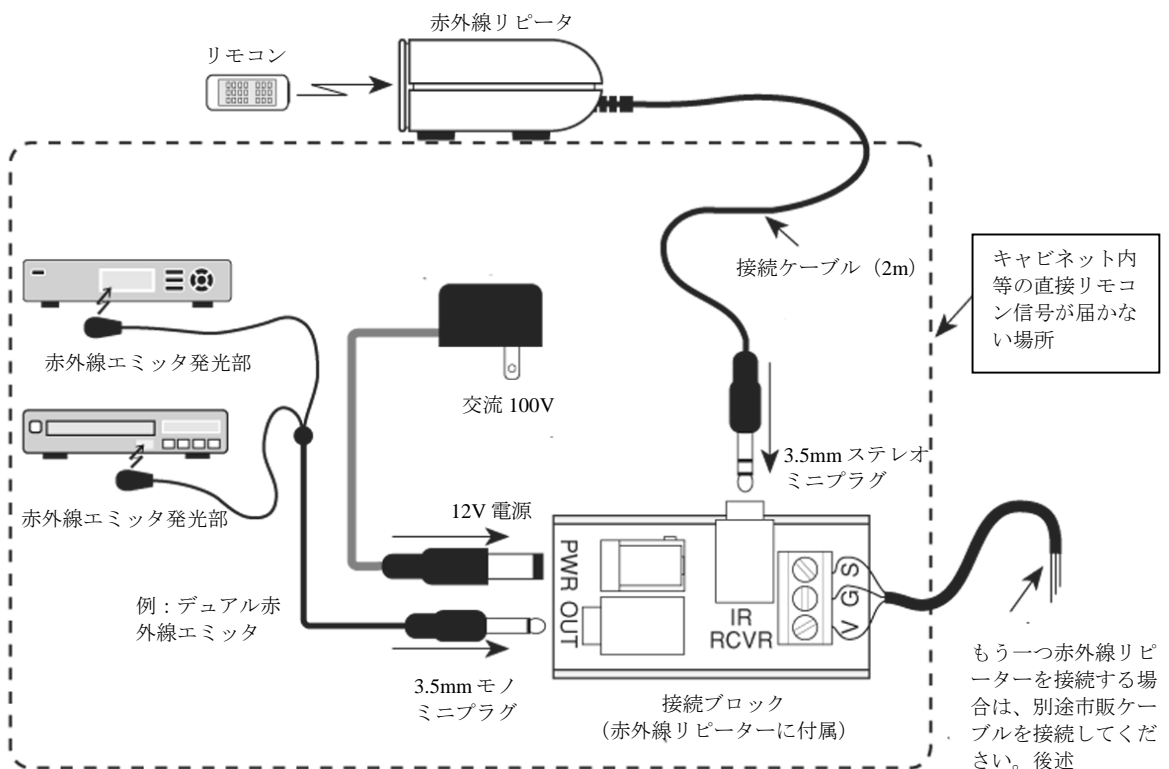
赤外線 (IR) リピーターは AV 機器等で使われる赤外線リモコンからの信号を受信して、赤外線リモコンからの信号が直接届かない場所—キャビネット内や別の部屋に設置されている AV 機器まで有線で赤外線信号を伝え、操作するための装置です。
デスクトップタイプ赤外線リピーターには“接続ブロック” (下図参照) が付属します。

配線

接続ブロックに赤外線リピーター、赤外線エミッタ、電源を接続します。
赤外線エミッタにはシングルタイプ (F8282)、デュアルタイプ (F8284) があります。どちらを使用してもかまいません。

注：配線中は電源を入れないで下さい。電源を入れたまま赤外線エミッタを接続すると故障の原因となります。

注：赤外線リピーターの確認 LED が常に点灯し続ける場合は、“トラブルシューティング”を参照してください。



上図はデュアルタイプの赤外線エミッタを接続した場合です。片側の赤外線エミッタだけ使用してもかまいません。

もし二つ以上のエミッターを取り付けたい場合は、赤外線分配器 F8134 を使って、4 本のエミッターケーブルに分岐することができます。デュアルタイプを接続すると最大 8 機器まで操作することができます。

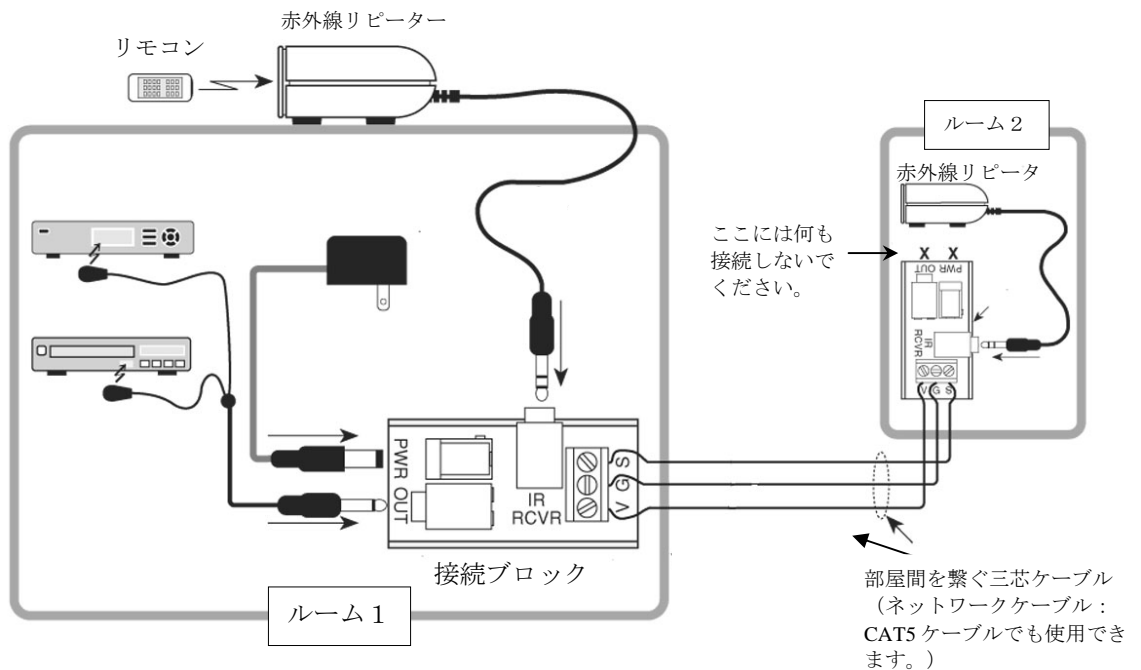
赤外線リピーターを追加する

赤外線リピーターを追加するには、接続ブロックには 3 端子ターミナル利用して、別の接続ブロック間を相互に接続し、それぞれの接続ブロックに接続された赤外線リピーターを両方使用することができます。3 端子ターミナルの V、G、S のマークは、それぞれ V : +12V 電源、G : GND、S : 赤外線信号を示します。

接続は下図のように三芯のケーブルで接続ブロック間を接続して下さい。入手し易いネットワークケーブル (CAT5 ケーブル) を利用した場合で、30 - 40 m の距離の使用が可能です。線は縀り線でも単線タイプでもかまいません。

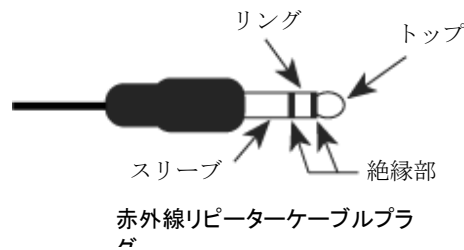
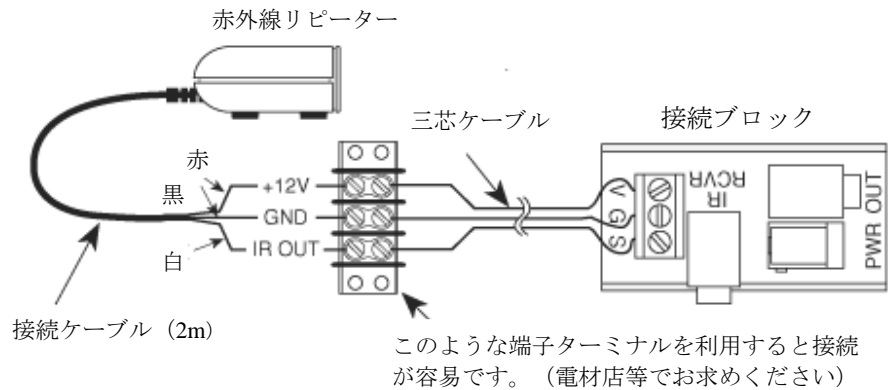
電源は赤外線エミッタが接続されている接続ブロックのみに接続してください。

より多数の部屋からも機器を操作できるようにするには、別の接続ブロックが必要です。お問い合わせください。



赤外線リピーターケーブルの延長

赤外線リピーターのケーブル (約 2 メートル) では足りない場合は、15m 延長ケーブル (F8784) を利用して、リピーターケーブルまたはエミッターケーブルを延長してください。または、下図のように付属のケーブルを途中で切って、そこから市販のケーブル (ネットワーク用 CAT5 ケーブル等) で延長し、接続ブロックに接続することもできます。



プラグ	ケーブルの色	線種
リング	黒	GND
トップ	白	信号
スリーブ	赤	直流12V

トラブルシューティング

- 赤外線リピーターの確認 LED が常に点灯し続けていて、正しく動作しない場合の原因として次のことが挙げられます：
 - 液晶 TV の蛍光管、プラズマディスプレイ、ハロゲン灯、ネオンアートや照明ディマー、直接又は間接の太陽光線、アクティブ赤外線センサ、CRT モニター等の影響が及ぼさず、赤外線リピーターの確認 LED がリモコン信号受信時以外のときに点灯しなくなるようにリピーターの位置を変更してください。
 - 赤外線ノイズは明るい色の周囲の壁や家具等に反射して赤外線レシーバーに入光しますので、周囲に黒い色の布や物を置いたり、赤外線レシーバーに覆いをし、入光角度を制限することで改善することがあります。
 - 赤外線リピーターの確認 LED が常に点灯し続ける状態で、継続して使用すると故障につながる可能性があります。
- 赤外線リピーターの確認 LED が赤外線受信時に点灯しない時は、次のような確認操作をお勧めします：
 - AC アダプタがコンセントに挿されていますか？
 - 赤外線リピーターのステレオミニプラグが接続ブロックの”IR RCVR”コネクタに接続されていますか？ (“OUT”コネクタに接続されていないことを確認して下さい。)
 - 直接ケーブルで配線している場合、接続ブロックの3端子ターミナルに正確に配線されていますか？

3. もし赤外線リピーターのLEDが点灯して動作を確認しているのに、機器が正確に動作しない場合は、赤外線エミッタ発光部が正しい位置に付けられていない可能性があります。赤外線エミッタ発光部は必ず機器の赤外線受信窓の前に、貼り付けて下さい。

注意事項

1. 赤外線リピーターの確認LEDが、リモコン信号受信時以外に常に点灯した状態が続くと、赤外線エミッタの寿命が短くなることがありますので、必ず赤外線リピーターの確認LEDが常点灯しない位置に設置してください。
2. 同じ部屋の中で複数の赤外線リピーターを使用しないで下さい。信号は多数の回路内で堂々巡りをはじめ、どのような命令にも応答しなくなります。
3. 配線中は電源を入れないで下さい。電源を入れたまま赤外線エミッタを接続すると故障の原因となります。

スペック

F8291

赤外線信号変調バンド幅：30-100 KHz

赤外線受信可能範囲：約9 m（距離は機器の調整や周囲の環境等でも変わります。）

LEDランプで信号の受信確認可能

サイズ：80W x 18H x 51D mm

F8298 CFLタイプ

赤外線信号変調バンド幅：25-65 KHz

赤外線受信可能範囲：約9m（距離は機器の調整や周囲の環境等でも変わります）

サイズ：83W x 25.4H x 48.8D mm

共通項目

通常の実用可能な受信器正面からの角度：45度

最大電流：100mA

電源消費量：12V 20mA

保証について

ホームページ中のショップ情報ページに記載されています。